

ご挨拶

拝啓 貴社ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、当学会の事業にご支援いただき厚く御礼申し上げます。

さて、第 58 回日本生物物理学会年会を、2020 年 9 月 16 日（水）から 18 日（金）までの 3 日間、群馬県高崎市の G メッセ群馬を会場として開催する予定で、関東支部の委員により準備を進めてまいりました。しかし、ご存知のように、新型コロナウイルス感染症の発生により、世界各地が甚大な被害を受け、日本国内でも人の往来が制限され、大規模な催しの開催が中止に追い込まれるなどの事態となりました。

開催予定施設の G メッセ群馬も 4 月中旬には営業を開始する予定でしたが、6 月 1 日に開業とのことでした。また、現状を鑑みるに、たとえ営業が開始されても参加人数や実施方法に厳しい制限がかかることが予想されます。年会を主催する立場として、当然ながら、参加者の安全と健康を第一とする必要がありますので、今回は現地での開催ではなく、オンライン開催とすることを決定しました。

以前より、企業の方々にはご協賛をお願いしてまいりましたが、オンライン開催となれば従来のような展示会、ランチョンセミナーなどの催しが実施できず、企業様のご要望にお応えすることが難しくなっています。しかし、この機会にオンライン開催を進めている他学会の状況を見ると、多くがオンライン開催のウェブページ上のバナー広告や企業主催のセミナーの企画などを掲げており、日本生物物理学会年会においても同様の企画を進めることといたしました。

まだ、オンライン形式の詳細を決めておらず、現時点でご提案を示すことはかたがたありませんが、バナー広告や各シンポジウム上での開催前広告、企業主催のセミナーなどが実施できるのではないか、と考えております。すでに、お申し込みをいただいた企業様に関しては、今後個別に対応していく所存です。また、この機会に、ご協賛をお考えの場合には、ぜひ、下記連絡先までのお問合せくださいますようお願い申し上げます。

2020 生物物理<ejbp58@aeplan.co.jp>

なお、年会のプログラムに関しては、従前通り、シンポジウムの開催と一般発表を行う予定です。なお、一般発表は発表数の関係からポスター発表とすることとしておりましたが、もし、発表申込数が少ない場合には、口頭発表へと切り替える可能性があります。

敬具

第 58 回日本生物物理学会年会

年会長・実行委員長

大澤研二（群馬大学大学院理工学府）